

# 『やさしい 建築構造設計 演習問題集』 第1版第1刷 読者の皆様へ

本書の第1版第1刷（2023年11月20日発行）に下記の誤りがございました。ここにお詫びして訂正いたします。

最終更新日： 2025年2月27日

株式会社学芸出版社 企画編集部

## 問題集 本体

ページ	セクション	箇所	誤	正
83	4.6 鉄骨造・柱	圧縮力+曲げモーメントに関する検討 手順1 曲げ応力度 $\sigma_b$ の式	$\sigma_b$ (長期) = $M/A$ $\sigma_b$ (短期) = $M/A$	$\sigma_b$ (長期) = $M/Z$ $\sigma_b$ (短期) = $M/Z$

## 綴込み別冊 解答解説冊子

ページ	セクション・問題番号	箇所	誤	正
14	4.7 接合部 問題4	ウェブ部の検討 手順1 有効長さ $l =$ の数式内のスカラップの数値	スカラップ36mm	スカラップ <b>30</b> mm
18	5.2 2次設計 問題5 (5) 偏心率 $R_e$	$r_e = 30\text{mm}/248\text{mm}$ 式の偏心率の記号	$r_e$	<b><math>R_e</math></b>
19	5.4 2次設計 問題2 ②	3行目・4行目にある式の右側	2800 2800	2800 $\Theta$ 2800 $\Theta$
20	5.4 2次設計 まとめ 問題3(4)	崩壊機構の図内 1階の層間変位	$\delta_2 = 4\theta$	$\delta_1 = 4\theta$